

編集後記

本誌刊行の母体である筑波大学大学院博士課程人間総合科学研究科学校教育学専攻は、教育学研究をリードする茗溪の伝統を継承し、これまで5年一貫制博士課程の一専攻として実績を重ねることで、「学校教育学」を代表する教育・研究組織として多くの人材と豊かな研究成果を世に送り出して参りました。

しかし、本専攻関係者が創出したアイデアや研究成果は、これまでは専門研究領域ごとに所属教員が中心となって個々に発信される場合が多く、現代の重い課題である「学校教育学」研究の成果をまとめたかたちで、しかも時代の変化に敏感な若い世代を中心に発信することは必ずしも十分行われてはきておりません。

本誌刊行の趣旨は、編集規程にも明記されているとおり、院生・修了生を中心に時代を切り開く斬新な研究成果を積極的に掲載するところにあります。本専攻は「今日の学校教育をめぐる問題の複雑化・深刻化に対処するとともに、最先端の学校教育学研究の地平を切り開き、学校教育の具体的実践活動に積極的にかかわる高度な専門的能力を有する研究者の養成」を目的としています。本専攻が、この目的にこたえるためにも、院生・教員・修了生が一丸となってこの難局・難問題に意欲的に取り組み、様々な課題についてのオリジナルな提案を世に問う場となることを願って本誌を創刊いたしました。

(編集委員会委員長 塚田 泰彦)